

## 第5回 東大和市自治会活性化検討会議 (要録)

日 時 平成23年2月8日(火) 午後7時～午後9時

場 所 会議棟第2会議室

出席委員 6名

欠席委員 1名

市の出席者 子ども生活部長、市民生活課長、事務局

配布資料 (当日配布)

資料1 新「東大和市の自治会活性化への取組み」(素案)

資料2 備蓄庫・コンテナ収納品一覧表

資料3 第3回 東大和市自治会活性化検討会議(要録)

資料4 第4回 東大和市自治会活性化検討会議(要録)

(事務局) 第5回東大和市自治会活性化検討会議を始めます。

(座長) 始めに確認をいたしますが、この会議は年度末までの6回を予定しております。

今回は前回に引き続き、新たな「自治会活性化への取組み」素案について議題といたします。

### 1 新「東大和市の自治会活性化への取組み」(素案) について

(座長) 皆さま方のこれまでのご意見、自治会長の皆様のアンケートなどのご意見を踏まえまして、新しい自治会活性化への取組みの素案を作成したので、ご協力をお願いいたします。

(事務局) 今後のスケジュールについては、この第5回の会議で、皆さまからご意見をいただき、それを反映させたものを自治会長の皆様へお配りし、ご意見を伺いたいと思っています。そのご意見を反映させたものを、3月23日の第6回検討会議でお示し、最後の形としたいと考えております。

続きまして本日の資料につきましてご説明いたします。ただいまの議題は、資料1で、本日は資料1～4までを配布させていただきました。(資料1を説明)

(座長) 報告書ですが、前はかなりのボリュームでありましたが、今回は、簡潔にまとめました。課題は4項目でまとめましたが、ご意見を伺いたいと思います。

(委員) 3番の要約はこれで良いが、私たち住民は、市がこれをどのように方向付けしていくのか、意見が出ないと前に進まないです。毎回まとめても、市役所としてどのように取り組むか、書いておかないと進まない。

(座長) 3番の課題の項目で、必要か不必要かなどのご意見がありましたらお願いしま

す。

(委員) ここに書いてある中に基本的な地域制がない。市の考えている地域制をはっきりしていただかないと、防災を切り口に行うとしても困ってしまう。コミュニティ区を8つに区分するのも結構なので、決めてもらいたい。内容はその次で、そこに市役所の担当者、市議会議員も入ってもらい活動することがその役割です。そのようなことを、前回の他の委員が発言していましたよね。それから、意見交換の場と書いてあるが、自治会長会議程度しかできないと思います。地域を作り、地域でまとめた話を地域の代表が市と話し合いをしてもらう。地域割りがないと職員の担当制もないです。

(委員) 前回は防災を切り口にすることは確認しました。防災組織を作ろうにもきちんとしたスケジュールがどこにもない。項目ごとに、このような方法でいつまでに行いますというスケジュールがないと実現は出来ない。どうせ作るなら、ここまで作ってほしいです。全体的なマップがないので、毎年、見直しすることも出来ません。2、3年で出来るとは思わないので、その中に地域割りなども出てくるのだが、何をするかは、1点に絞っても良いと思います。

(委員) 私は、5年計画で行えば良いと思っています。例えば「1年目で地区割りを決める」。次は、「職員を貼り付けていく」。このようにして、検証していかないといくら説明を入れてもダメだと思います。

(座長) 防災が切り口とのご意見が多く、各自治会の会員も関心も高く、市長に報告した際にも、自治会は防災に力を入れていることは伝えました。市のコミュニティ区は8区分です。今地域防災計画も見直しが始まっています。

(委員) コミュニティ区割りがどのようなのか分かりません。

(座長) 市では8区と言っていますが、自治会の方々もご存じのない方が多いようです。現状では8ですが、小学校の10とか、7、11など色々な区分があり、この場で決めることはできません。

(委員) 一度8区分で行ってみてはいかがですか。

(事務局) ここまで4回ご意見をいただきまして、「(2) ③定期的に意見交換の場を」という表現にしましたが、ここでは自治会長の皆様に広い場で話をさせていただき、それを直接担当課の管理者が聞く。この中でローリングの話も出来れば、5年間とか目標管理もできると、私個人の考えですが、思っています。この会議で出された皆さまの今までの意見は担当課には伝えているが、担当課の職員が直接話を聞く場があっても良いと思っています。自治会長会議だけではなかなか意見交換ができませんので、それ以外にお話を聞く場や話し合いをする場を設けるということです。

(委員) 市の職員意識を変えてほしい。市のためにボランティアをしている。市民が何をしているのか、それを汲んで出来ることは補助してほしい。担当部署が出てきてくれることは良いことですが、横のつながりがなく縦割り行政だから、市役所の部

課長会や課長会を開いてほしいですね。防災倉庫の関係も縦割りしすぎて、情報がそれぞれの課に行っていない。この前の日曜日に救急救命の訓練を実施したが、新堀地区会館に消防署に来ていただきAEDを開けたところバッテリーが0でした。0の前には25%、50%、75%など段階的に表示します。命に係ることなので是非事前に確認しておくべきです。

(事務局) AEDのバッテリーが少なくなっていることは、事実です。1月の初めにはバッテリー会社に注文しています。この製品は日本光電(株)のものです。製品はすべてアメリカから取り寄せるものです。市では平成18年3月に一斉導入したもので、バッテリーの寿命が5年であり、ここにきて注文が多く、在庫が中々ないとのことで、2月末までに入る予定です。現在は、バッテリーを機械本体の上に置いて、利用する際に入れていただくようにしています。しかし、説明不足でしたので注意書きをし、消防署にも連絡しておきます。

(委員) バッテリーはすぐ供給できる会社もあります。AEDは住民の命に係ることなので、機種選択には充分注意を払ってください。

(座長) 人命に係ることなので、常に使えるようにしておくことが大切です。今までお話ししていただいたことの中で、自治会が防災を切り口に活動していくことは、会員の皆さまを非常に引きつけるし、また、自治会がまとまりやすく、加入も促しやすいとのことでしたので、提案させていただきました。地域担当制については、この会議でも発言がありましたもので、職員に地域についてもらい市と自治会とのパイプ役になってもらう制度で、先ほどの縦割り行政の解消にもなるように思います。環境とか防災とか市役所の誰に話して良いか分からない時に、自治会長さんが連絡しやすくする提案です。③の意見交換の場ですが、今までの自治会長会議ですと、行政からの補助金の説明やお知らせなどが多く、お互いの意見をキャッチボールできる情報交換の場が少ないと感じています。皆さまのご意見をお聞きし、定期的なやり取りや今回の取組みを作りっぱなしにすることなく、ローリングすることによって、その都度問題を解決し、前に進むことができると思い提案しました。最後の自治会長・役員の負担軽減の仕組みを作るとは、行政側からどのようなことができるのか、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 自治会長会議は、社会福祉協議会、社会教育課も開催しているので、あまり日程が近寄らないよう調整しているところです。市民生活課でも、チラシの配布をお願いしていますが、お願いするタイミングなど皆さま方の役員会に極力迷惑にならないよう、調整することを周知出来るようにしていきたいと思っています。

(委員) チラシなどの配布をまとめることは、自治会長の負担軽減にはならないと思う。自治会は絶えず会員のことを考え、声掛けや見守りを行っているところで、このようなことが出来ないところは、回覧だけを行っている。防災訓練はすでに自治会ごとに行っているところが多い。防災を切り口にとというのは、これから自治会を作る

ところに言う事で、地域制がなければなにもできません。地域制がしっかりすれば、その代表が集まり、市の部長と話し合いをすれば良いと思います。地域の問題は地域の自治会が解決策を考えます。このことを市全体でまとめて行くと、収拾がつかない意見が出てくる。ですから会議が成り立たなくなってしまう。地域の問題は地域で話し合い、そこから代表が出て、市と話し合う場面を作らないといけない。8地区に決まっているのであれば、消防団が一つ足らなくてもスタートすべきです。市民センターでも、地域の中には集会所もありますので、スタートしないと先に進まない。

(委員) 1~4 までの考え方は分かりました。自治会が活性化できるよう、まず市役所内での横の連絡が取れるような部課長会議のようなものを検討してもらいたい。市役所内での意思統一が出来ないと、1課だけではより具体的にならない。

(座長) 現在は、検討会議でこのような意見があったことなどを、理事者や関係課に報告しているところです。ただいま委員から庁内で関係の深い課との検討委員会をと、提案がありましたが、このような会議があればスポットで検討できると思います。先ほどの意見交換も、このような仕組みをどのようにするかは議論が必要ですが、そのような時に部課長が出席すれば、話はスムーズになると思います。

(委員) 会議に関係課長が出席すると良いと思います。

(委員) 広い意味で防災が中心ですが、問題は高齢化ということで、独居老人が多くなってきているが、自治会としていかに対応したら良いか。社協が声掛け見回りを行っているが、この社協の会議では、個人情報自治会に出してくれない。市も高齢化対策を自治会活性化の一つのテーマとして入れたらどうか。避難体験訓練に多くの人に参加してもらいたくてチラシを回覧したが、参加者はほんのわずかでした。小学校の校長を通し、子どもたちに参加を呼びかけたが、参加はなかった。

(座長) 災害時に高齢者とか障害のある方とかをどのように避難させていくか、今、市でも検討しているところです。確かに個人情報の問題もありますが、一人暮らしの方などに対し、どのようにして地域で手を貸してもらえるか検討しています。防災について、自治会のない地域への呼び掛けることが重要です。

(委員) 私たちの地域でも一人暮らしの老人が最近見かけないとの相談がありました。民生委員に相談したところ、その方はやはり入院していました。「最近〇〇の方を見かけないがどうしたのだろう」と気にする。このことが大事で、このような情報を共有することも、自治会に入っている意義といえると思います。個人情報がありますが、防災に繋がると思います。このような情報を自治会で持っていることで、安心できるので検討していただきたい。

(委員) 役所の中で部課長による検討をしてもらえないと進まないです。市で考えてほしい。

(委員) 地域制を明確にする。これが前提と考えて、市の中で活性化に向けて部課長で

試案を作ってください。これが出来れば、切り口として防災が出来るかと思います。ここがないと先へ進めません。縦ではなく横のつながりを行ってください。誰がどのような形で入ってくるか分かれば、我々も積極的に参加します。自治会長の仕事が多いとの意見もありますが、好きで受けているのでどんどん行ってほしいです。目標を作れば少しも前に進みます。後ろ向きな理由を書いても前には進まない。

(事務局) 会長や役員の負担を軽減する仕組みを作るとしたのは、アンケートの中で負担軽減してほしいというご意見が多く、確かに検討会議の委員さんは会長を長くやっていたらいいと思いますが、このようなことから入れたものです。軽減することより合理的になると思いますが、見守りなどのために回覧を行うこともあるかという考え方もありますが、大変であると思う人がいたため、この項目を作りました。

(座長) 本日は素案の方向性を決め、他の自治会長へも具体的なものを送付し、目を通していただき、方向性を決めていきたいと考えています。そのような視点で1~9までを皆さまの意見で収斂してきたかと思います。それをどのような形になるかを提示したいと思います。

(委員) 市の部課長さんと議論をしていただき、どのようなことができるか、その結果を私たちに示してほしい。

(座長) 私も、このような会議はいままでもございませんので、それを作り定期的に開催していかなければならないと思います。地域割とか、地域担当制とか1・2回の会議で終わりそうもないので、意見を交わしながら、自治会全員か定期的に係わっていただける有志の方なのか、メンバーを募って定期的に意見交換ができればと思います。

(委員) 今の項目をどのようにするのか、この場での結論は出ないです。市の担当の方でそのことを検討してもらいたい。その方向性を持って出来ること、出来ないことを提出してもらわないと、こちらも出てくださとは言えない。市は内部の連携を取り、しっかりしてもらわないといけない。

(委員) 市が検討の課題を整理してください。防災はどうする、高齢化をどうする、それと自治会の考えをどうするのか、市の内部で会議を開き、示してほしい。それを紹介してくれれば、私達も検討できると思う。そうでないと議論が進まない。

(委員) 次回は方向性を提案してください。

(座長) この会議の設置目的は、前回と合わせ素案を簡潔にどのように作っていくのかです。新しく自治会をどのように活性化するか、自治会のない地域にどのように働きかけるかの、骨子的なものを作り、検討委員会でまとまったので自治会長にもご意見を賜りたい。次回6回では清書出来るようにしたい。

(委員) 地区割りも出来ていないのに、防災の切り口はどうするのか。話が逆ですよ。

コミュニティが出来てから、防災はこうですよとか話さないで、ここに書いてあることをまとめてもどうにもならない。

(座長) 自治会がない地域の働きかけなどについては、自治会が出来るときは、住宅が出来たり、宅地開発があったりした時点で、不動産屋さんへ働きかけて、その気運を高めていく。実際に活動されていることを市のホームページなどで紹介し、自治会はこのような活動であることなどを情報提供し、自治会作りを働きかけするなどがあると思います。

(委員) 今はどのような見解で、どのような方向性にしてくれるのか。6回だからと締め切ってはダメです。これだけ活発な意見が出ているので、6回を8回9回にしても良いです。途中でまとめないでください。

(委員) ここでまとめたら、私たちは協力できなくなります。

(委員) 今日出た意見をまとめて、結果の出るもの、出ないものがあると思うが、それを次回検討してもらうことです。急ぐことはないと思います。

(座長) 本日の4点は市としても行っていきたい。それは、私の説明が至らなかったと思います。今までの議論でも、防災を切り口には、自治会の勧誘ですとか、自治会がない地域においても市として働きかけが出来る。

(委員) コミュニティ区をはっきりしてください。

(座長) 市は8のコミュニティ区を定めていて、周知が十分されていないことは、聞きました。現在あるのは、総合計画の審議会で議論されているものです。

(委員) 今、17年度の見直しを検討しているのです。市は予想して会議を開いているが、年度を越えて会議をすることは出来るのか。

(座長) 役所は無理です。自治会長会議で提案をさせていただき、何が目標で、この1年間で検討し、新しい活性化への取り組み案を作り、生かしたい。年度を越えることは難しい。

(委員) 確かに年度計画であるが、完結していないので、延長しても良いと思います。予算を立てて行っている事でないのですから。

(座長) 先ほどの委員からの意見は、現実的であると受け止めました。

(委員) 次回までにどのような考えを示せるか。収束しないでとの意見もあったので、次回までに報告してください。私はスケジュール1点だけでも良いと思います。大きなタイトルは3つ位なので1年目はこれを行うと、具体的でないに進まないです。今、8地区は現状にあっているのか、議論もしてもらいたい。8地区で防災はどうなるのかも検討してください。

(委員) 17年度からの検討を1年間行って、市役所は何らかの結論を出したいことは分かりますが、色々議論があり、まとまりつつあるものもあるが、更に今後の課題として含みを残す。市役所の会議、地域制の議論は必要性があると思う。8つの地域制も議論していないので、これで終わりとしたら、生煮えになってしまう。

(座長) 市には地域防災計画がありまして、8つのコミュニティ区ごとに、備蓄などを行っていく。拠点はセンターがないところは、その代りとして、例えば蔵敷であれば蔵敷公民館などが指定されています。「市の地域割が決まらないから、先に進まない」、「このことが伝わっていない」と言われれば仕方がないが。

(委員) 情報をください。

(委員) きちっと地域を明記してください。

(座長) ③の定期的意見交換が不要であればご意見を。

(委員) 定期的に、の後に(不定期的)として書いてください。

(座長) 行政的には①～④までは実施できると思って提案しています。

(委員) 地域の代表が出て会議を行えば良いのではないか。

(事務局) 地区が分かれていますれば、地区の代表で行うことが良いと思います。この前の板橋区のような連合組織が出来れば、組織がピラミット型になると思いますし、地区の代表が集まれば、偏らない意見が聞けると思います。地域防災計画では、芋窪・蔵敷、奈良橋・高木、狭山・清水、上北台・立野、中央・南街、向原・仲原、清原・新堀、桜が丘の8地区となっています。平成16年に改定したものです。

(委員) 資料を出してください。

(座長) 会議の設置目的の1年でまとめていきたいと思っています。どのように納得していただけるか。

(委員) 8地区の担当者をいつまでに決めるか、防災の切り口に、高齢者でも良いですが、これをいつまでに行うか提案してください。1項目でも良いと思いますが。小さいことからでも良いから提案してください。

(委員) 半年に1回の意見交換でも良いですよ。

(座長) その会議は、市の関連する幹部も出席し進めた方が良くと思う。そのメンバーがどのようになるか分からないが、検討会議のローリング検証及び情報交換も必要に応じて出来ればよいと思います。資料は早く送ります。スケジュールの部分ですよね。年度内が当初の目標で市長にも報告してきましたので、本日の会議において延長の話があったことなど報告します。9項目位出ていますが、項目についてざっくりになります。作成し市の内部でも確認し、皆さまに揉んでもらうことになるかと思っています。次回は3月23日の日程を取っていただいておりますので、いくつかの項目をざっくりした考え方ですが事前にお手元に送付し、意見を求めます。

(事務局) 理事者には、当初年度内だと指示をいただきましたので、本日の意見を報告しまして、明言できなく申し訳ありませんが、理事者の指示を仰ぎたいと考えています。